

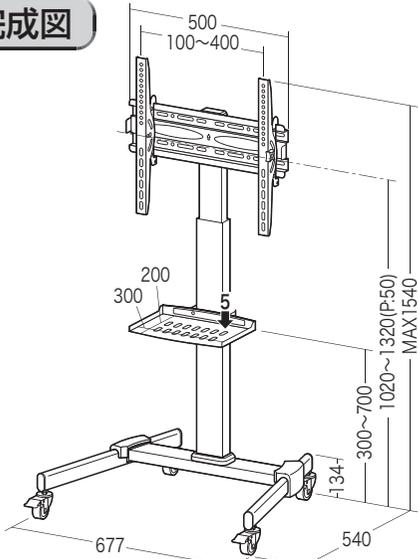
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございます。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）
プラスドライバー

完成図



総耐荷重：40kg
(35kg以下のディスプレイを取付け可能)

組立て部品

※部品の欠品や破損があった場合は、品番（100-PL024など）と
下記の部品番号（①～⑭）と部品名（キャスターJなど）をお知らせください。

- ①支柱A×1本
- ②レグフレーム(左右)B×2本
- ③レグフレーム(センター)C×1本
- ④ブラケットD×1個
- ⑤ブラケット(左)E×1個
- ⑥ブラケット(右)F×1個
- ⑦棚板G×1枚
- ⑧棚板ブラケットH×1個
- ⑨カバーI×1個
- ⑩キャスターJ×4個
- ⑪レグカバー(左)K×1個
- ⑫レグカバー(右)L×1個
- ⑬配線孔キャップM×2個
- ⑭キャップR×1個
- ⑮ワッシャーQ×8枚

使用ボルト

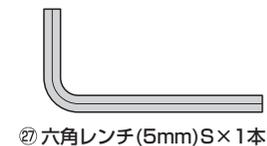
- ⑯ボルトN×4本 (M6×45)
- ⑰ボルトO×4本 (M6×35)
- ⑱ボルトP×1本 (M6×16)

ディスプレイ取付け用ボルト・ワッシャー・スペーサー

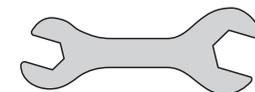
- ⑲ボルトM-A×4本 (M5×14)
- ⑳ボルトM-B×4本 (M6×14)
- ㉑ボルトM-C×4本 (M6×30)
- ㉒ボルトM-D×4本 (M8×30)
- ㉓ボルトM-E×4本 (M8×50)

- ㉔ディスプレイ用ワッシャーM-F×4枚
- ㉕スペーサー(小)M-G×8個
- ㉖スペーサー(大)M-H×8個

※ディスプレイの取付けに適した部品をご選定頂き、
ご利用ください。

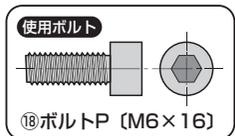
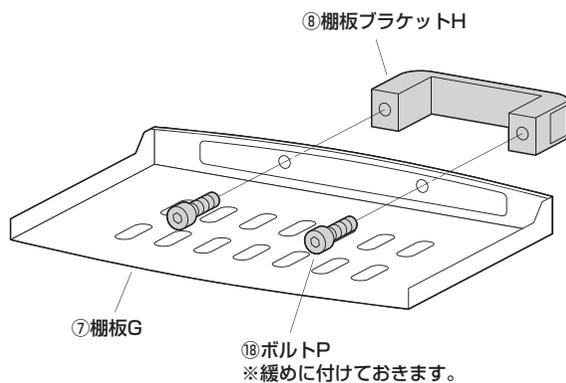


㉗六角レンチ(5mm)S×1本



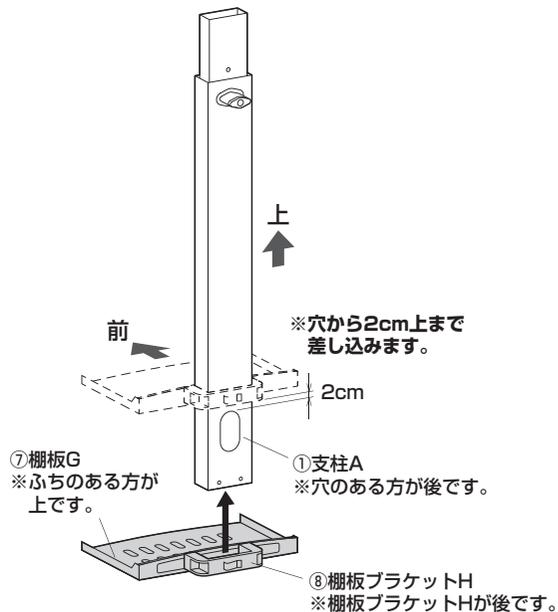
㉘スパナT×1本

1 棚板Gに棚板ブラケットHを取付けます。

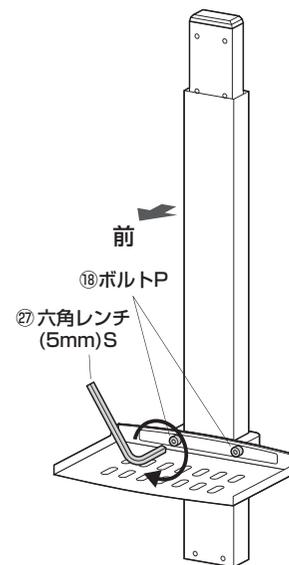


2 支柱Aに棚板ブラケットを取付けます。

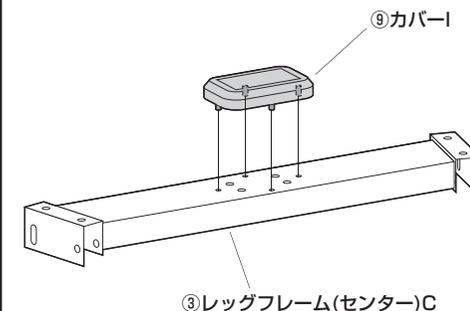
①支柱Aに棚板ブラケットHを差し込みます。



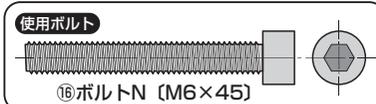
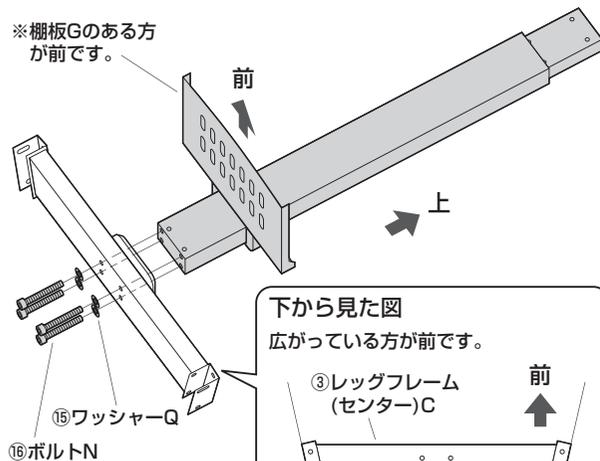
②六角レンチS(5mm)を下図の仮固定位置で締め付けて固定します。



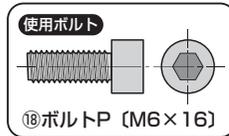
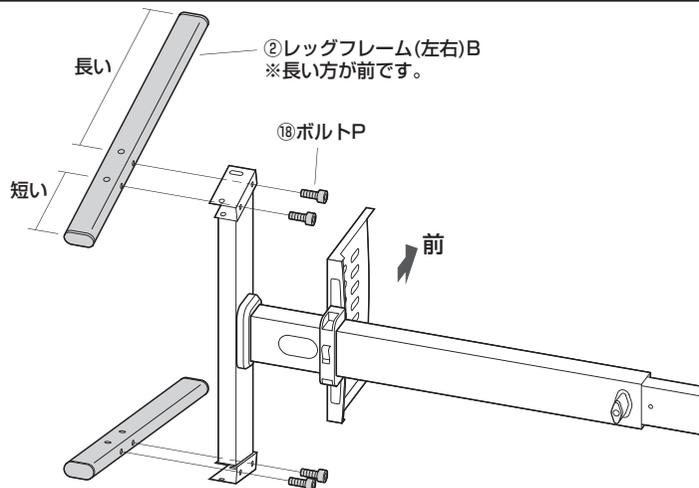
3 レッグフレーム(センター)CにカバーIを取付けます。



4 レッグフレーム(センター)Cに支柱Aを取付けます。



5 レッグフレーム(センター)Cにレッグフレーム(左右)Bを取付けます。



6 キャスターJの上側のナットを増締めし、ストッパーをロックします。

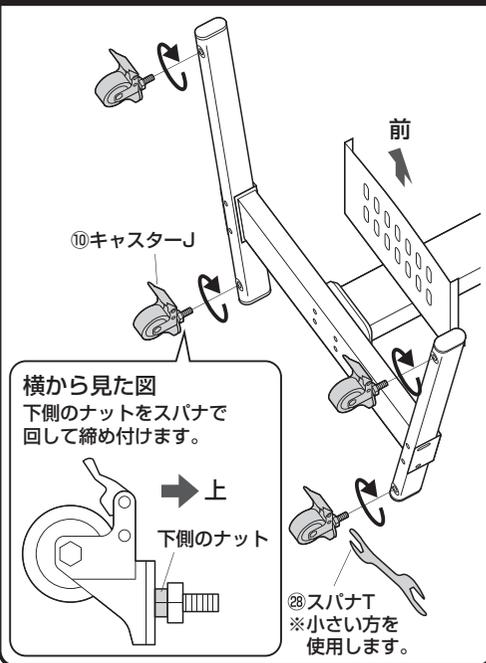
①キャスターJの上側のナットを増締めします。



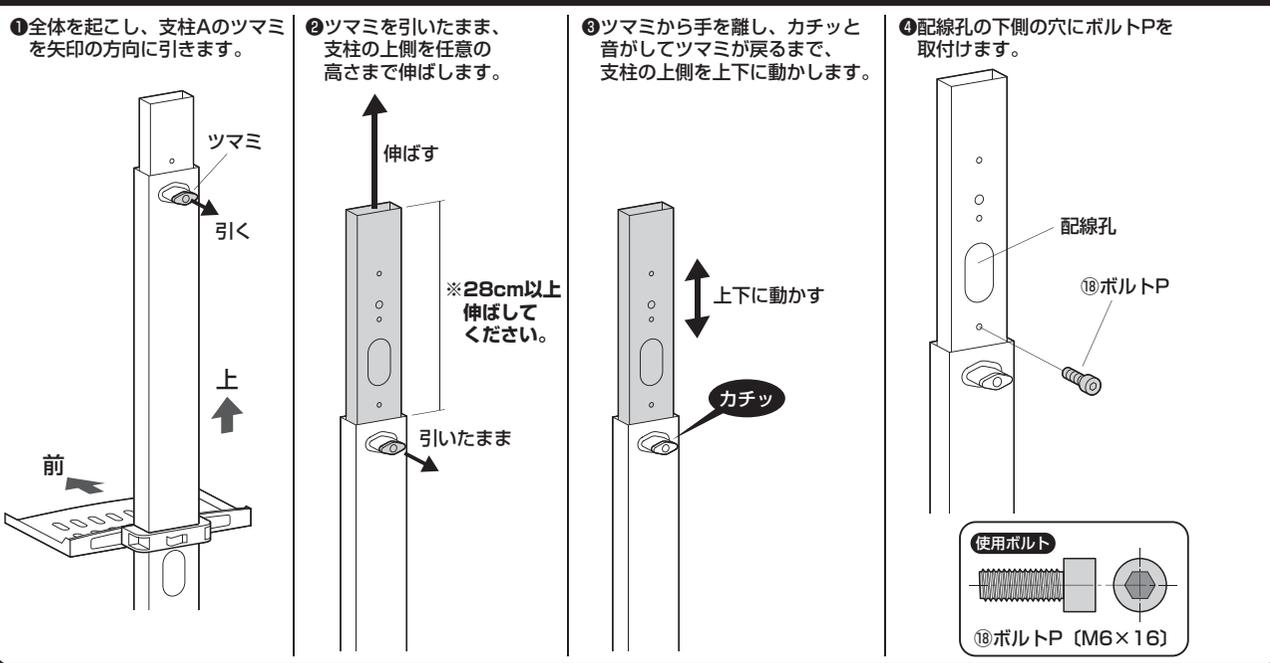
②ストッパーを下げ、キャスターをロックします。



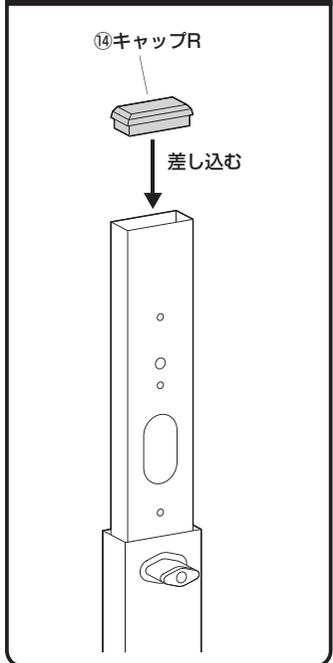
7 レッグフレーム(左右)Bに
キャスターJを取付けます。



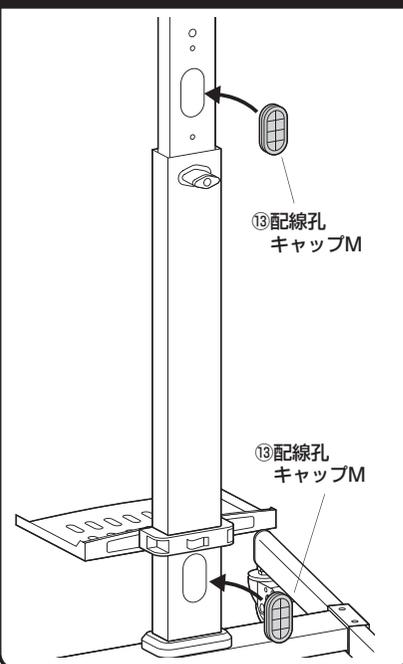
8 支柱Aを任意の高さに調節します。



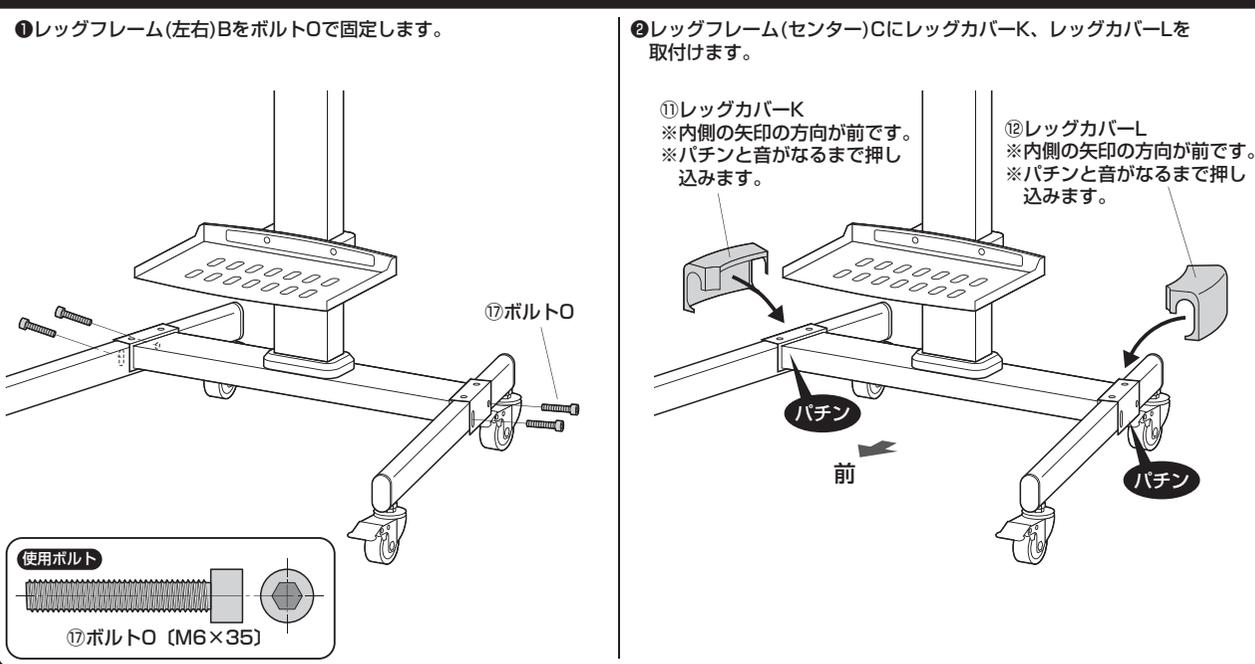
9 支柱AにキャップR
を取付けます。



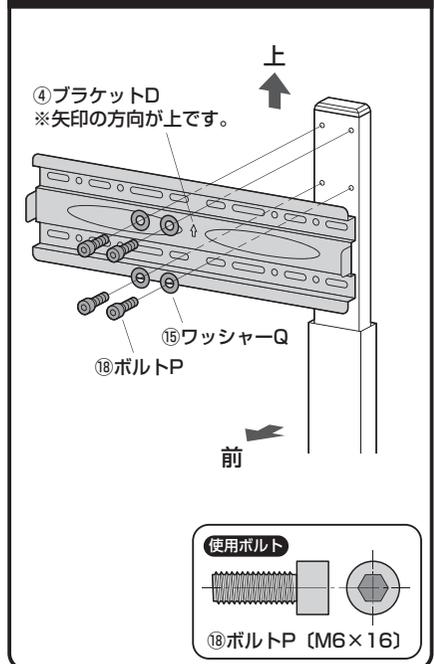
10 支柱Aに配線孔キャップM
を取付けます。



11 レッグフレーム(センター)Cにレッグカバー(左)K、
レッグカバー(右)Lを取付けます。



12 支柱AにブラケットD
を取付けます。



ディスプレイにブラケットE、ブラケットFを取付けます。



ボルトが長すぎるとディスプレイを破損する場合があります。

また、ボルトが短すぎるとディスプレイがしっかりと固定できず脱落する恐れがあります。

取付けに適したボルトの長さは各ディスプレイによって異なります。

必ずディスプレイの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、取付けるボルトの長さを決めてください。

ディスプレイ用ワッシャーM-Fの穴は使用するボルトに合った場所を使ってください。

⑳ディスプレイ用ワッシャーM-F

M6・M8ボルト穴
M5ボルト穴

㉑ブラケット(左)E
※長穴のある方が下です。
※ノボルトが外側です。

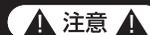
ボルトM-A,B,C,D,E
㉒ディスプレイ用ワッシャーM-F

毛布など
上

ディスプレイ背面

㉓ブラケット(右)F
※長穴のある方が下です。
※ノボルトが外側です。

※付属のボルトが最後まで締まらない、またボルトが少ししか回っていないなど、ボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意の上、市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。



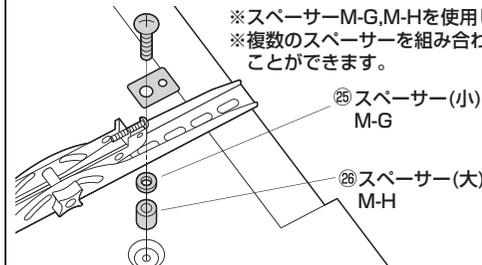
ディスプレイに付属しているスタンド類は取外してください。スタンド類の取外し方法はディスプレイの取扱説明書をご参照ください。



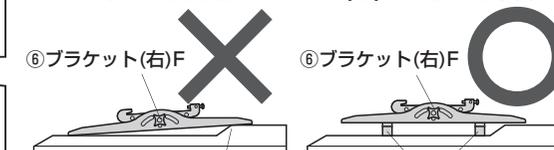
毛布などを下に敷き、ディスプレイへの傷や破損に十分ご注意ください。

ボルト穴部分にくぼみがある場合

※スペーサーM-G,M-Hを使用してください。
※複数のスペーサーを組み合わせて使用することができます。



ディスプレイの突起とブラケット(小)が干渉する場合



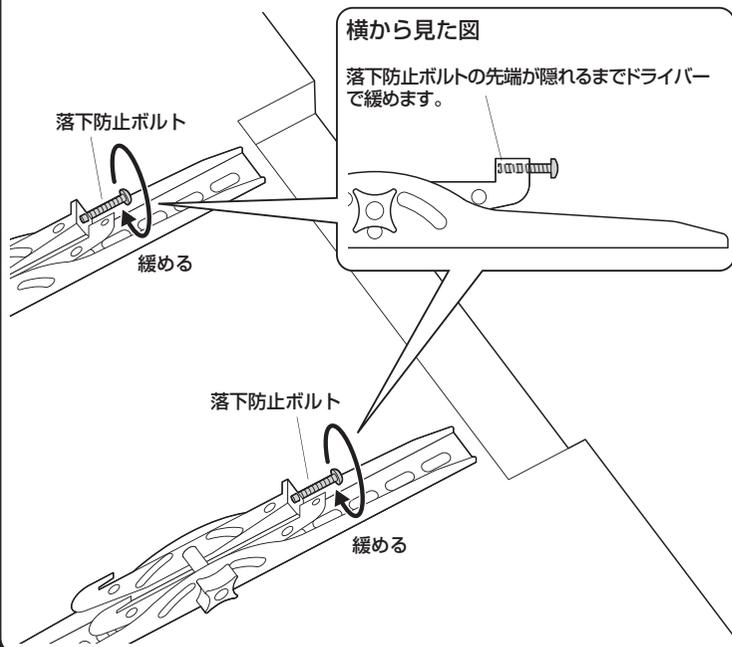
突起に干渉している

㉕スペーサーM-G
㉖スペーサーM-H
※複数のスペーサーを組み合わせて使用することができます。

ブラケット(左)E、ブラケット(右)Fの落下防止ボルトを緩めます。

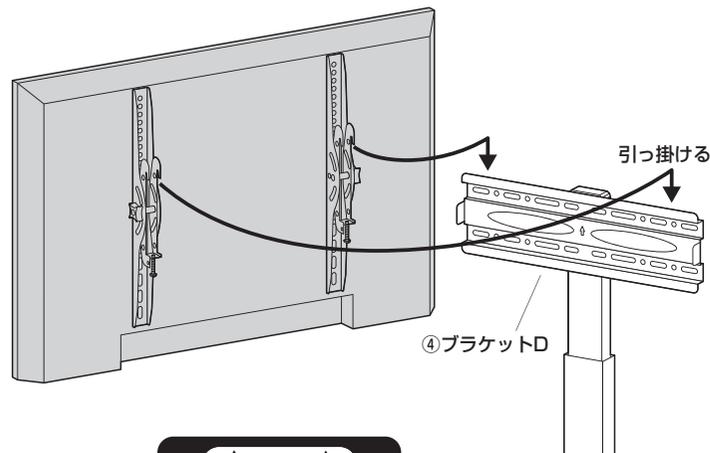
横から見た図

落下防止ボルトの先端が隠れるまでドライバーで緩めます。



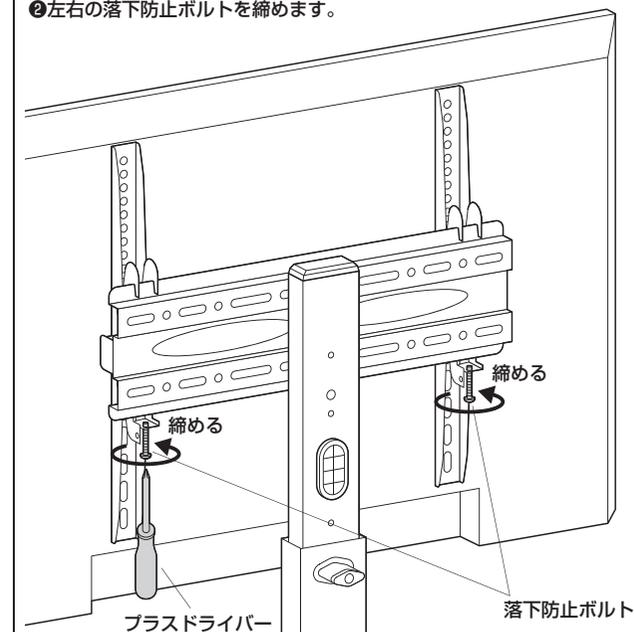
ブラケットDにブラケット(左)E、ブラケット(右)Fを取付けます。

①ブラケットDにブラケット(左)E、ブラケット(右)Fを引っ掛けます。



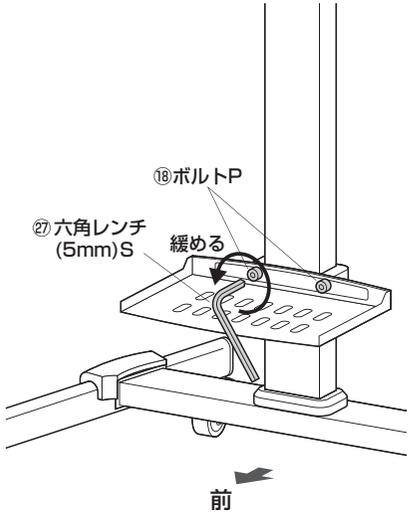
この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

②左右の落下防止ボルトを締めます。

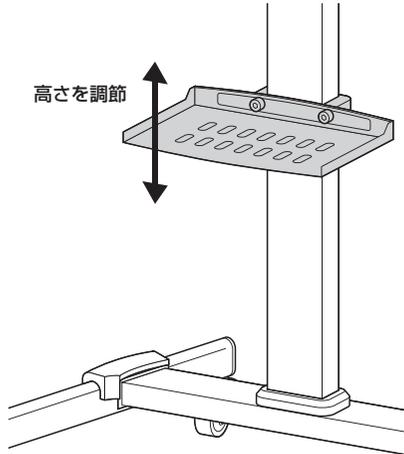


棚板Gを任意の高さに調節します。

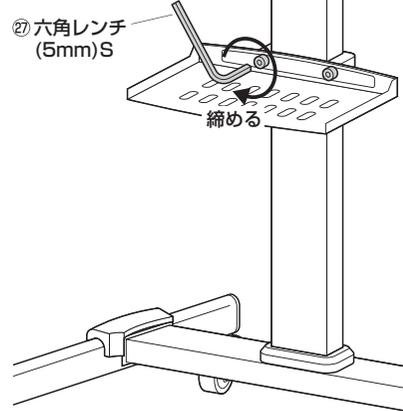
① 棚板Gを留めているボルトPを緩めます。



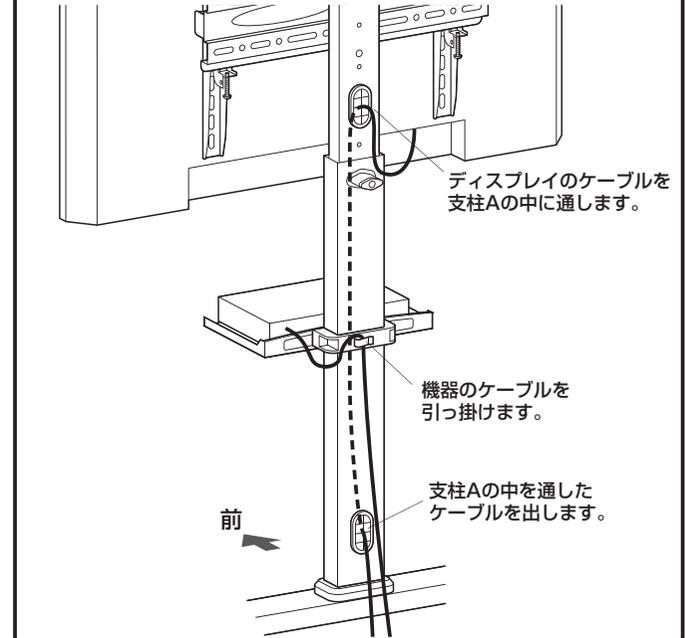
② 棚板を任意の高さに調節します。



③ ボルトPをしっかりと締め付けて固定します。

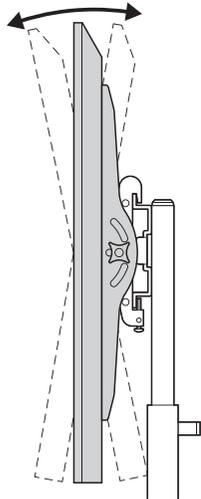


機器のケーブルを配線して完成です。



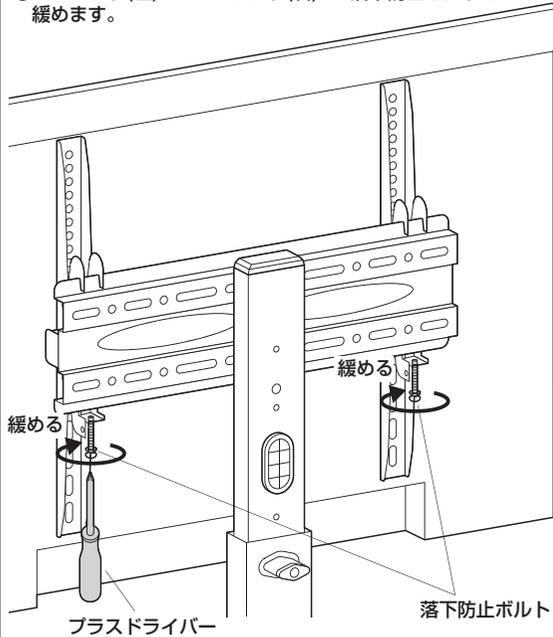
ディスプレイの角度調節方法

注意
ゆっくり動かして調節してください。

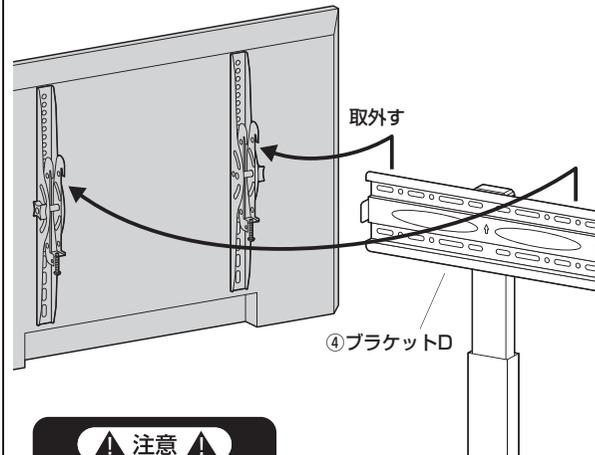


ブラケットの固さが適切でない場合

① ブラケット(左)E、ブラケット(右)Fの落下防止ボルトを緩めます。

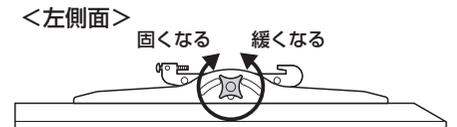
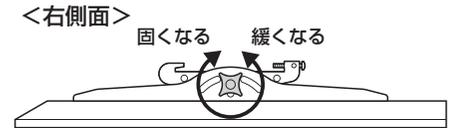


② ブラケットDからブラケット(左)E、ブラケット(右)Fを外します。

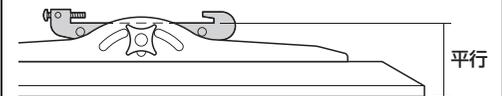


注意
この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

③ ブラケット(左)E、ブラケット(右)Fのツマミを回し、固さを調節します。

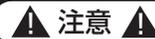


④ ブラケット(左)E、ブラケット(右)Fの角度をディスプレイ画面と平行にします。



※ 固さ調節後、組立手順15に従って再度ブラケットDに取付けます。

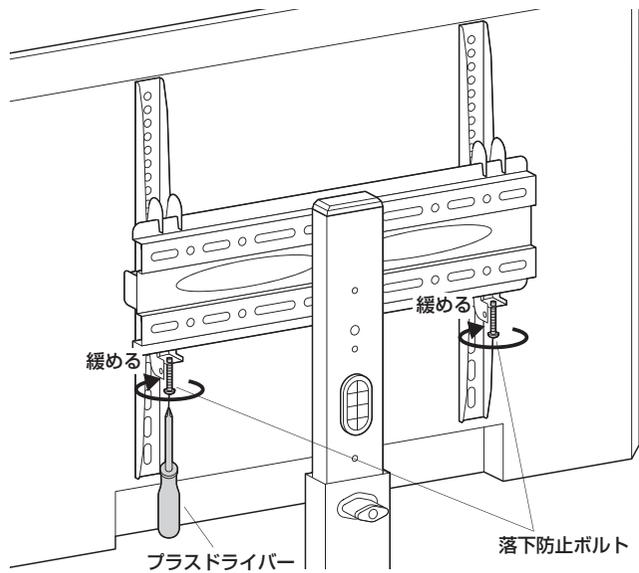
支柱の高さ調節方法



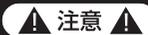
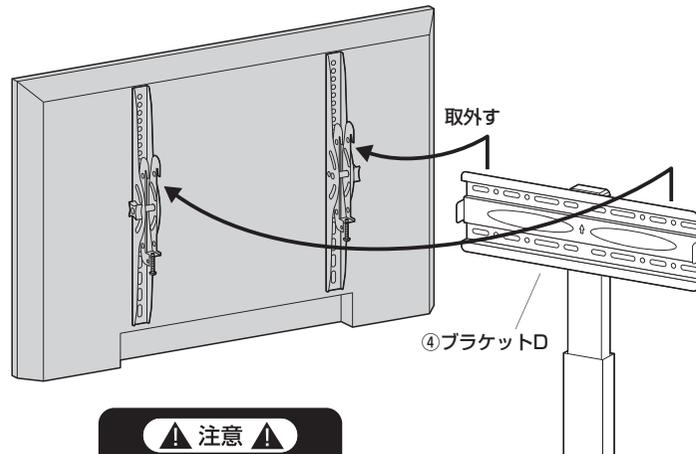
注意

支柱の高さ調節は必ずディスプレイを外してから行ってください。

① ブラケット(左)E、ブラケット(右)Fの落下防止ボルトを緩めます。



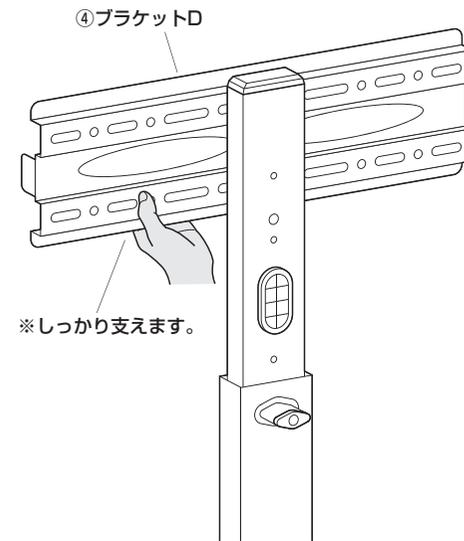
② ブラケットDからブラケット(左)E、ブラケット(右)Fを取外します。



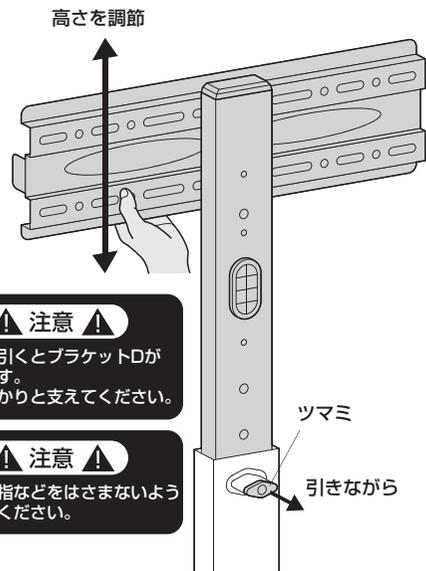
注意

この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

③ 手でブラケットDを支えます。



④ ツマミを引きながらブラケットDを任意の高さに調節します。



注意

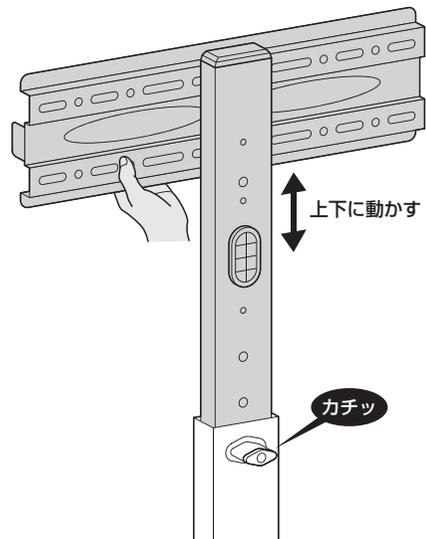
ツマミを引くとブラケットDが下がります。手でしっかりと支えてください。



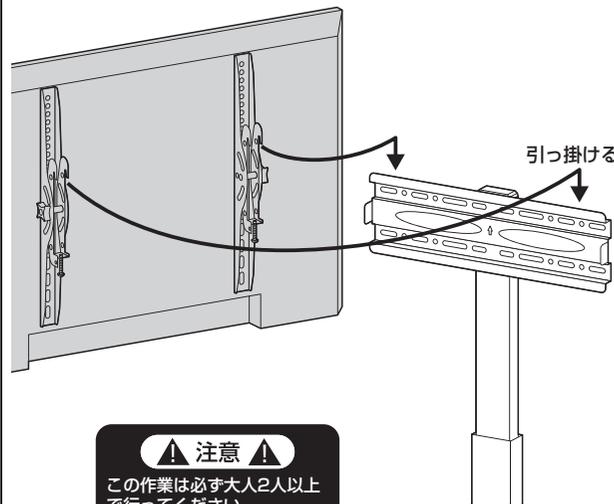
注意

可動部で指などをはさまないようにご注意ください。

⑤ ツマミから手を離し、カチッと音がしてツマミが戻るまで、ブラケットDを上下に動かします。



⑥ ブラケットDにブラケット(左)E、ブラケット(右)Fを引っ掛けます。



注意

この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

⑦ 左右の落下防止ボルトを締めます。

